

# 心の準備 プレ林間学校

## 発達障害の子ども支援NPO(盛岡)

### 本番前に親子体験会

### 来月6、7日宮古で開催

発達障害の子どもが組織し、盛岡市を拠点に活動するNPO法人accommon(アコモン・成田礎野美理事長)は5月6、7日、宮古市の区界高原少年自然の家で林間学校体験を行う。市内の小学校は夏にかけて学校行事として林間学校を行うが、発達障害の子どもたちには初めての場所や集団活動が苦手な子もおり、参加をためらうことも多い。同法人は事前に施設的环境や林間学校の流れを体験することで「初めて」への不安を和らげ、子どもたちが学校行事を楽しめるようサポートする。

林間学校体験には、親子6組(子ども7人)と学生ボランティアが参加。登山や野外炊さん、ベッドメー

クや宿泊など、学校の林間学校と同じ内容で行う。

発達障害は自閉症や注意欠陥多動性障害などの総称。症状は多様だが環境の

流れに身を任せて行動することが難しい。体験を通して事前に行事の流れを確認し、本番に臨む準備をする。

同法人によると、発達障害の子を持つメンバーが家族で林間学校の下見をしたところ、子どもは本番の行事にも安心して臨むことができた。その後の修学旅行などは訪問予定場所の写真を見せたり、具体的な行動

変化する中で集団活動が苦手なことが多く、その場の

時間を伝えるだけで参加できるようになった。

林間学校体験は国立青少年教育振興機構の助成金を活用するが、決定額は申請額の約7割で前金はそのうち6割ほど。今後の活動も含めた資金調達に苦慮しており、同法人は寄付や賛助会員を募っている。

成田理事長は「体験を重ねることが次につながる。本番の行事を楽しみ『できた』という達成感を味わってほしい」と開催の意図を語り、活動への理解と協力が広がることを願う。

寄付や賛助会員の問い合わせは同法人(070・4415・1449)へ。

学校によると、2人は15日夕、ホテル内の自動販売機でチューハイを購入。男子生徒は350ミリ缶を3、4缶、女子生徒は同1缶を各自の部屋で飲んだ。2人は飲酒を認め、遊び半分

同校の校長は「普段の指

一周継走前夜  
生徒2人飲酒  
沿岸部の中学校

盛岡市で16日開催された盛岡市内一周継走大会に出場した沿岸部の中学校の3年生男女2人が、宿泊した盛岡市内のホテルで飲酒していたことが21日、分かった。

### 健康調査成果を展望

東北メディカルメガバンク機構 東京でシンポジウム

【東京支社】震災被災者が出席。同機構は同計画でらの健康調査を医学研究に集めたゲノムデータ(全遺



垣を使わず土塁と塼で築かれ「土塁の名荘城の城跡。明治時代以降に史跡公園と春にはソメイヨシノなど約千本の桜が城

クに染め上げる。連日大勢の市民らでにぎわいを見せてり」の期間中はライトアップも行われてた幻想的な夜桜もなかなか人気だ。

### 公園 (秋田・由利本荘市)

## 約千本 城跡染め上げ

今度は1万本をを彩る。  
魁新報社提供)  
由利本荘市観光文(6349)  
羽越本線羽後本日本海東北道本から車で10分。(随時掲載)

